

## 2018年度 認定留学 留学報告書

国際交流学科3年

留学先：イギリス リーズ大学附属語学学校

留学期間：2018年8月～2019年2月

私が留学を通じて学んだことは二つあります。

一つは、何でも失敗を恐れずにチャレンジする精神です。留学してから私はまず、クラスでの日本人生徒の多い環境の中で日本人の友達しかできないという悩みに直面しました。その悩みをマンスリーレポートに書いたところ、国際課の方が「そのような環境の中で留学生生活をどのように過ごすのかは自分次第」だと教えてくれました。私はそこで、自分が周りのせいになっているだけで、自分から全く行動していないことに気づきました。それからは、外国人の友達を作るために色々なコミュニティのイベントを探し参加しました。寮のフラットメイトを食事に誘ったり、クラスに新しく入ってきた外国人の子には自分から積極的に話しかけました。そうしてできた友達は、宝物のような存在になりました。一緒にヨーロッパを旅行したりスコットランドに行ったり、たくさんの思い出ができたし、悩みを打ち明け合えるほど親しくなりました。そのほかにも、日本の魅力をイギリス人に伝える桜祭りというイベントにボランティアとして参加しました。和食や着物体験、和太鼓のパフォーマンスなど様々なサービスが提供される中、私は折り紙ブースの担当になり、お客様に鶴やカエルの折り方を教えました。できあがったものを嬉しそうに大切に持ち帰るお客様を見て、参加してよかったと心から思いました。そして多くの方が日本文化に興味を持っていると知ることができて嬉しかったです。そのほかにも、クラス委員に立候補したり、大学のトップの方にインタビューする機会を頂いたり、本当にたくさんのことに挑戦しました。中には苦手意識があるものもあったけれど、そういうことにあえて挑戦することで、自分の成長をたくさん感じることもできたし、自分に自信が持てました。

そしてもう一つ私が学んだことは、努力し続けることの大切さです。留学する前は、努力したって自分にできることはたかが知れていると思っていました。しかし、留学生活の中で、努力すればそれだけ大きな結果が出て達成感を感じることを、身をもって体験しました。例えばプレゼンテーションも、私は凄く苦手意識が強かったし、しかもそれを英語で話すなんて絶対できないと思っていました。しかしプレゼンの内容を自分の納得いくまで工夫して、事前に何回も何十回も練習することで、自分でも驚くほどみんなの前で堂々と喋ることができたし、クラスで一番のプレゼンに選んでもらえたこともありました。自分が頑張ったことが結果に出るのは本当に嬉しくて、そのための努力だと思えば苦に感じなくなっていました。語学の面でも、課題をしっかりとこなすインプット、友達と会話する

ことでのアウトプットを行うことで、気づけば自分でもわかるくらい上達していました。  
努力をする前に諦めるのではなく、自分が納得いくまで何でも頑張ってみようと思えるよ  
うになりました。